

■ すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび（玉川小学校）

1 【活動の趣旨】

地域の願いを子どもたちが感じ取れるような活動を通して、「地域への誇りや愛着」を持ち、自分たちの手でよりよい学校・地域を作り上げようとする子ども、自分たちのくらしを支えてくださっている地域の方に感謝する子どもの育成を目指している。スクールE S Dの取組を意識し、今まで以上に地域の方への発信を重視して事業を進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○「野路いも大作戦」（1年生）

生活科のさつまいも栽培体験をきっかけに、地域の方の依頼を受けて校区で収穫している「野路いも」を全校に広めた。



【1年「野路いも大作戦」】

○「安全マップをつくろう」（4年生）

地域の方から、まちの安全面の課題について教えていただき、安全なまちづくりを目指して、校区調査活動に出かけ、4年生が作成した安全マップを地域の方に贈呈するとともに、感謝を伝える会を開いた。



3 【実施に当たっての工夫】

日頃から地域との連携を大切にし、子どもたちが自分たちの地域の課題を解決したいと思えるような地域教材の開発、地域の方との打合せを行ってきた。

また、校区での調査活動をより充実したものにするためには、小グループ活動が必須になることが多くあったが、保護者サポーター（E－S u p．）の協力を得ることで、安全な状況で調査を行うことができた。

4 【事業の成果】

- ・地域の方からの依頼を受けて課題解決に向けた活動を行うなど、子どもたちと地域教材との出会い方を工夫したことで、子どもたちは意欲的に学習活動に取り組むことができた。
- ・自分たちの学びや気づき、地域の方への感謝の気持ちを発信する場を設定したことで、自分たちの行動がだれかを喜ばせたり、だれかの役に立ったりすることを子どもたちが実感でき、達成感や充実感を味わうことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

充実した活動にしていくためには、授業を組み立てる人自身が「地域をどれだけ知っているか」が鍵になるため、地域連携担当教員や地域コーディネーターの果たす役割が重要である。また、スクールE S Dの取組との関連は深い。それを活かして、例年通りの活動を継続するだけでなく、新たな活動をつくっていける機会と捉え、活動を実施していきたい。